



2020年10月29日

各 位

上場会社名	株式会社ジェイテクト
代表者	取締役社長 佐藤和弘
(コード番号)	6473)
問合せ先責任者	経理部長 神谷和幸
(TEL	052-527-1909)

2021年3月期 第2四半期連結業績の前年同期実績との差異 及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年3月期 第2四半期（2020年4月1日～2020年9月30日）の連結業績予想について未定としておりましたが、本日実績値を公表いたしましたので、前年同期実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2020年10月29日開催の取締役会において、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

●2021年3月期 第2四半期連結業績の前年同期実績との差異について

	売上収益	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A)	722,224	23,178	17,499	6,015	17.54
当期実績値(B)	520,226	△23,329	△23,969	△24,044	△70.11
増減額(B-A)	△201,998	△46,508	△41,469	△30,060	/
増減率(%)	△28.0	—	—	—	/

※ 「事業利益」は、IFRS導入に伴い設定した事業業績を測る利益であり、「売上収益」から「売上原価」と「販売費及び一般管理費」を控除したもので、日本基準における営業利益と同等の利益であります。

差異の理由

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大後、他の国・地域に先駆けて経済活動を再開した中国では、ステアリングやベアリング等の販売が前年同期を上回る水準まで回復したものの、中国以外の地域では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う販売減少の影響が大きく、売上収益は大幅な減収となりました。

固定費の削減等の効果はあるものの、減収の影響が大きく、各段階利益とも大幅な減益となりました。

● 剰余金の配当について

配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年7月31日公表)	前期実績 (2020年3月期第2四半期)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり 配当金	8円00銭	未定	22円00銭
配当金総額	2,744百万円	—	7,546百万円
効力発生日	2020年11月30日	—	2019年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

理由

当社は、安定的な配当の継続を基本に、業績及び配当性向等を総合的に勘案の上、配当額を決定しております。この基本的な考えを踏まえ、中間配当金につきましては、上記のとおり1株当たり8円とすることいたしました。

なお、期末配当金につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

※ 配当予想は次のとおりであります。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
配当予想		未定	未定
当期実績	8円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	22円00銭	16円00銭	38円00銭

以 上